

図 4.4 伊勢湾台風の浸水状況図

(愛知県内の浸水範囲は、「伊勢湾台風災害復興誌(愛知県)」内の伊勢湾等高潮対策事業計画基本方針で示されたもの、三重県内の浸水範囲は、「伊勢湾台風災害誌(三重県)」に示されたものである。「伊勢湾台風災害誌(建設省)」によると、昭和34年9月26日時に紀伊半島へ上陸した伊勢湾台風の概況は、9月23日～26日の三日間で中心気圧895～910mb、最大風速60～75m/s、風速25m/s以上の暴風圏の直径600～800kmに達した。この台風により死者、行方不明者4,500人余(愛知県、三重県の両県)全壊・半壊住居約12万5千戸、田畑流出・埋没・冠水10万ha弱の被害が生じた。)

2) 海面上昇による影響の特性

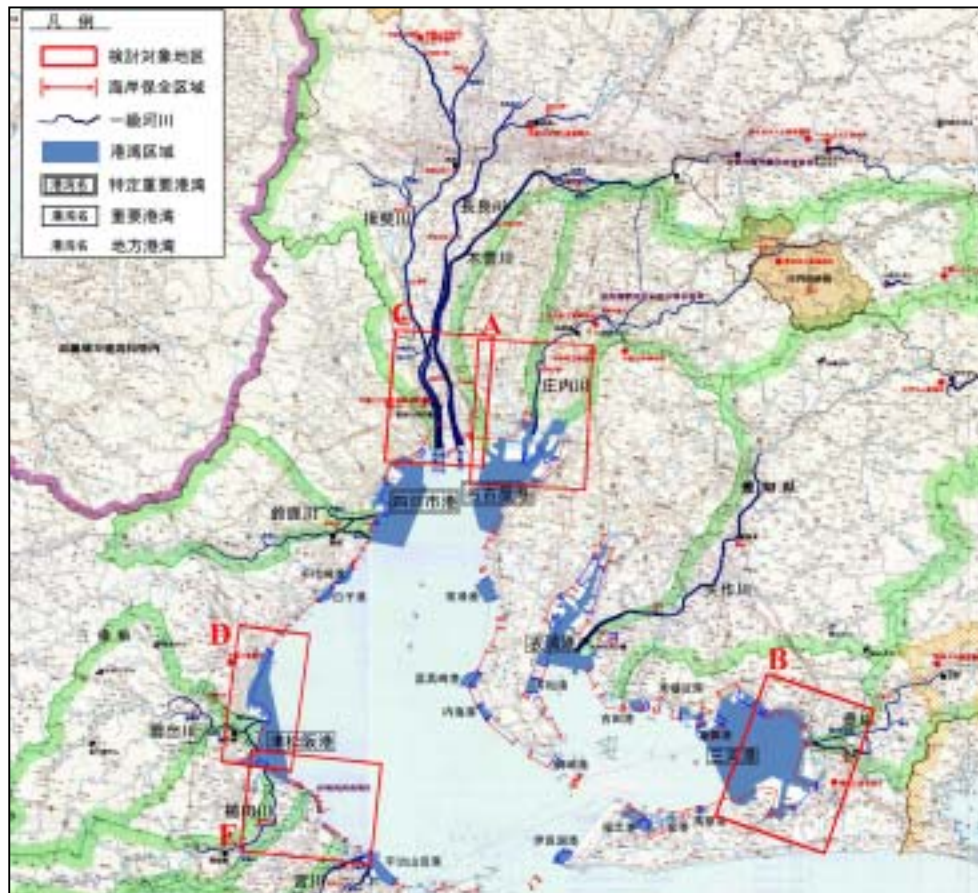


図 4.5 伊勢湾のインフラ施設

表 4.2 伊勢湾の主なインフラ施設（検討対象）

検討対象		A地区	B地区	C地区	D地区	E地区
海岸	名古屋港海岸	田原海岸	長島海岸	河芸海岸	明和海岸	
	南陽海岸	豊橋海岸	桑名海岸	津海岸	伊勢海岸	
	飛島海岸	御津海岸	四日市海岸	津松阪港海岸		
		蒲郡海岸		松阪海岸		
河川	河川堤防	庄内川	豊川	木曾川	雲出川	櫛田川
		新川		長良川		宮川
		堀川		揖斐川		
		天白川				
	水門等	1	0	1	0	0
排水機場	1	1	11	0	0	
橋梁	21	2	9	0	0	
港湾	名古屋港	三河港	桑名港	津松阪港	なし	
下水道	下水処理場	海域0、河川13	海域1、河川1	海域1、河川0	海域1、河川0	海域1、河川0
	ポンプ場	海域1、河川14	海域0、河川3	海域6、河川5	海域3、河川1	海域0、河川0
海岸に隣接する道路	国道1号 国道23号 国道302号	国道23号	国道1号 国道23号 国道258号	国道23号	国道23号	

注) 下水道施設欄の数字は海域放流施設数、河川放流施設数を示す。

(インフラ施設への影響に関して、海面上昇値(0.1,0.3,0.5,0.9m)を基に海岸保全施設・河川構造物・港湾施設・下水道施設・道路施設の各計画諸元について検討した。)

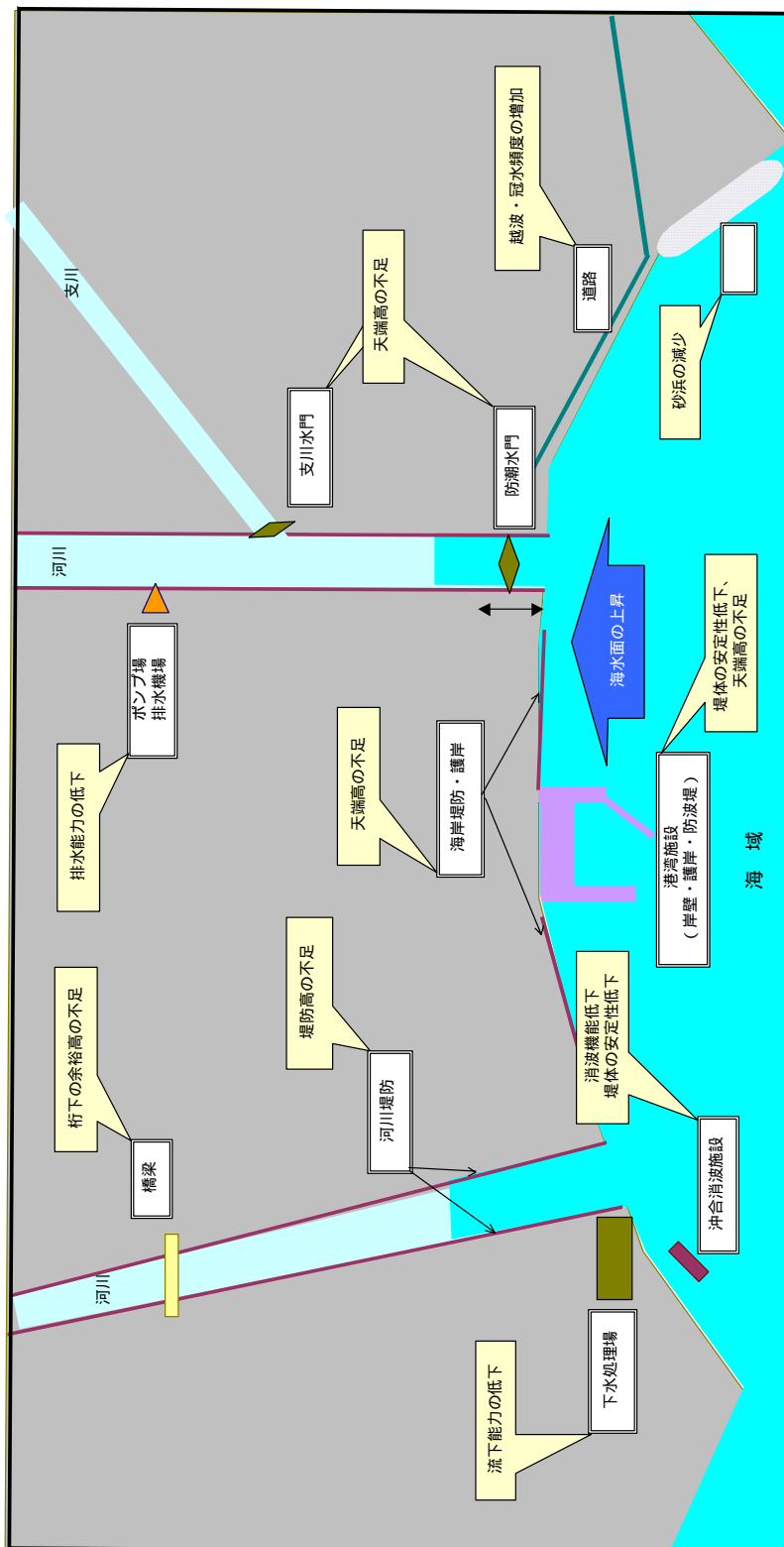


図 4.6 沿岸域施設の影響の概念図

(海面上昇による影響は、海岸保全施設や港湾施設の堤体の安定性低下・天端高不足、河川堤防や水門等の天端高不足、排水機場や下水処理施設の流下能力・排水能力の低下、橋梁の余裕高不足、海岸道路への越波や冠水頻度を増加させることが想定される。)

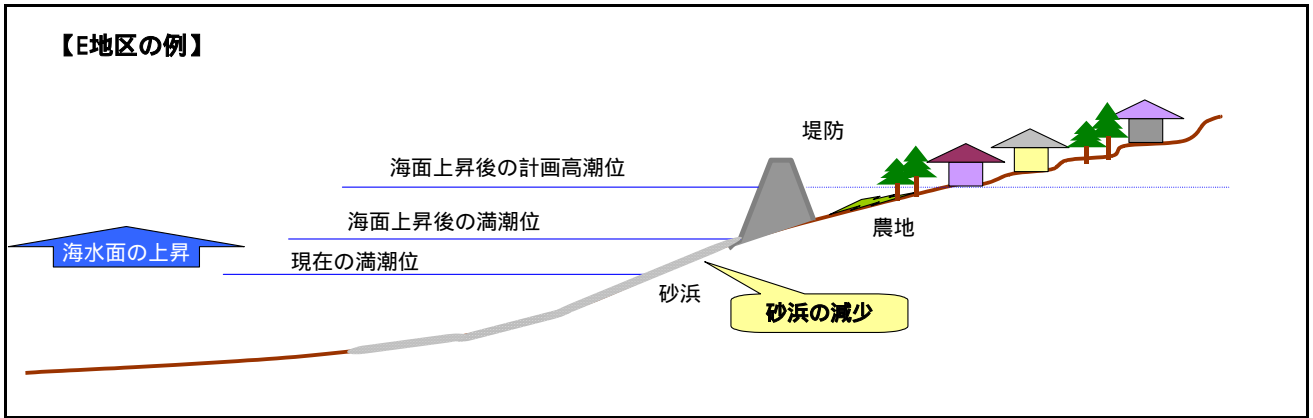
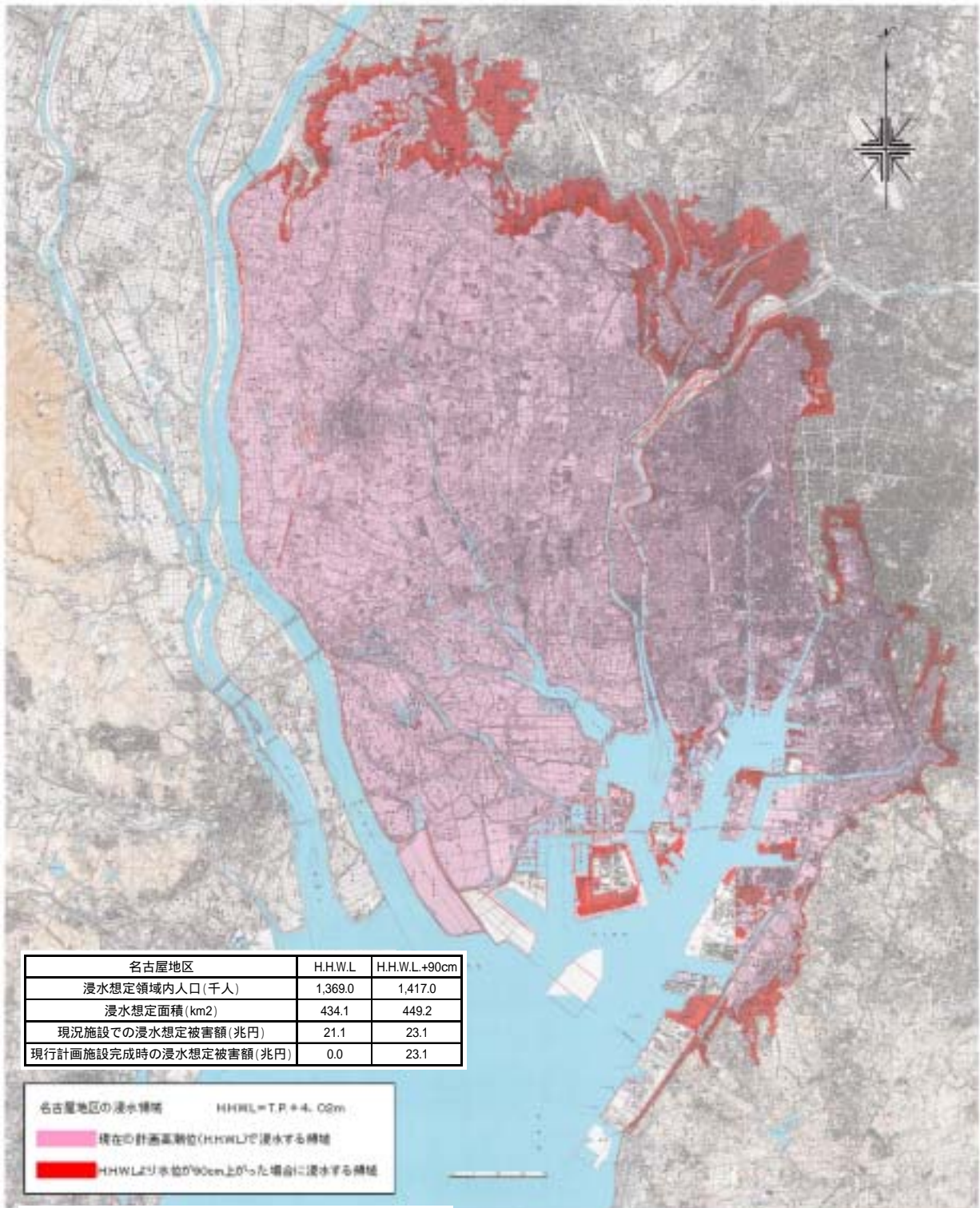


図 4.7 砂浜減少のイメージ図



被害額の算定は治水経済調査マニュアルによる

図 4.9 名古屋地区の予想最大浸水領域

(現在の計画高潮位 (H.H.W.L.) よりも低い領域及び海面上昇により現在の H.H.W.L. より水位が 90cm 上がった場合 (H.H.W.L. + 90cm) よりも低い領域を示した。)